

令和3年(2021年)鹿本地域振興局 トピックス

月 日	項 目
R3.1～9	新型コロナウイルス感染症対応(第3波、第4波、第5波)。
R3.1～9	管内で28名が新規就農。増加傾向が継続。技術・経営指導やほ場巡回等の支援が奏効。
R3.2.1	管内医療従事者への感謝を示す山鹿中学校合奏部及び吹奏楽部による「山鹿エールプロジェクト」を実施。
R3.2.6～2.7	地域農業を支える農事組合法人2団体が誕生。 ①農事組合法人あわしまファーム(西牧地区、2月6日設立) ②農事組合法人石淵PADDY(石淵地区、2月7日設立)
R3.2.26	鹿本総合庁舎改修工事(長寿命化及び山鹿保健所機能集約)が完了。
R3.3	国道325号の無電柱化(電線類の地中化)工事が完成。 着工:平成26年度 工区:1・2工区(山鹿中央通り交差点から桜町交差点まで)計1,020m
R3.3.13～4.11	農事組合法人「井手下ファーム」が県在来種の「肥後小豆(ひごしょうず)」を用いたあんパンを県事業を活用して開発し、道の駅「水辺プラザかもと」で期間限定販売。連日完売。
R3.5.20～5.21	5月20日から21日早朝にかけて季節外れの豪雨。これにより、公共土木施設の令和2年7月豪雨災害復旧工事が一時中断。
R3.5.30	山鹿保健所が鹿本総合庁舎1階へ移転。
R3.6	新品種「黒皮スイカ(品種名:黒武者)」(前年比3倍の15haで作付け)が6月の主要品種へ成長。
R3.6～10	土地利用型農業の省力化に向けたスマート農業技術の実証が進む。自動給水栓を設置した井手下ファームの実証ほ場において、6月から自動給水栓による用水が開始。効果検証進む。

R3.8.2	「県と山鹿市の行政運営の一体的な取組に関する基本協定」に基づく取組の一環として、「働き方×移住」をテーマに新たな勉強会をスタート。
R3.8.11～	8月の大雨に伴い鹿本地方災害対策本部設置。 農地・農業関連施設、山地・林業関連施設、県管理公共土木施設で多くの被害発生。
R3.8.12	山鹿市立八幡小学校体育館の改築において、屋根構造を木造化、内装を木質化する方針が採択。(中大規模建築への木造化、木質化に弾み)
R3.10	西日本一の出荷量を誇る「山鹿和栗」を使用した「ブラックモンブラン」(限定2万本)を山鹿市内物産館で販売。4日間で完売。
R3.10.15	山鹿市に移住した新規参入農林業担い手との意見交換会を山鹿市長を交えて開催。
R3.11.20～ 11.26	小坂川で水溶性液体流出事故発生。小坂川及び岩野川(池田橋付近まで)が白濁し、対応に当たる。河川水から毒性物質は検出されず。
R3.12.5	鹿本地域植樹祭を山鹿カルチャースポーツセンターで開催。八幡小学校児童・保護者等がサクラ、ツツジを植樹。
通年	食中毒事案、レジオネラ症発生事案、油等の流出事案、咬傷事故など、例年以上に健康危機事案が発生。